



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月2日

上場会社名 ホクト株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 1379 URL <http://www.hokto-kinoko.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水野 雅義  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 高藤 富夫 TEL 026-259-5955  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	33,610	4.6	997	—	980	—	528	—
2020年3月期第2四半期	32,143	7.6	△960	—	△1,071	—	△831	—

（注）包括利益 2021年3月期第2四半期 1,077百万円（－％） 2020年3月期第2四半期 △923百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	16.88	14.64
2020年3月期第2四半期	△26.27	—

### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	103,032	50,192	48.7
2020年3月期	100,602	50,545	50.2

（参考）自己資本 2021年3月期第2四半期 50,192百万円 2020年3月期 50,545百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	50.00	60.00
2021年3月期	—	10.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	50.00	60.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,600	3.3	5,810	48.1	5,890	40.7	3,610	135.7	115.25

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2 Q	33,359,040株	2020年3月期	33,359,040株
② 期末自己株式数	2021年3月期2 Q	2,020,386株	2020年3月期	2,096,197株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2 Q	31,294,064株	2020年3月期2 Q	31,660,310株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足資料及び決算説明会内容の入手方法について）

当社は2020年11月25日（水）に機関投資家・アナリスト向け説明会を当社ウェブサイトに掲載する予定です。この説明会で使用する決算説明会資料等についても同様に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、経済活動の停滞が継続しており、一部に経済活動の回復に向けた動きも見られますが、依然として厳しい状況が続いております。また、当社グループの主たる事業領域であります農業分野におきましては、春先の低温、7月の長雨、9月の厳しい残暑等、農産物の供給に影響を及ぼす環境が続き、激しい野菜相場変動により厳しい経営環境が続いております。

このような経済環境の中、当社グループは消費者の皆さま及び従業員の安全を最優先に考え、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮しつつ、引き続き中期的な事業展開に向けた新たな課題に対応するため、「お客様のニーズにお応えした商品戦略、事業戦略の構築」を主眼に置いた経営戦略を実践し、市況に左右されない強靱な企業体質を構築するべく、事業活動を推進してまいりました。当第2四半期もきのこ事業を中心として、健康食材である「きのこ」の研究開発、生産、販売を通してより多くの皆様へ、おいしさと健康をお届けできるよう事業活動を行ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高336億10百万円（前年同四半期比4.6%増）、営業利益9億97百万円（前年同四半期営業損失金額9億60百万円）、経常利益9億80百万円（同経常損失金額10億71百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億28百万円（同親会社株主に帰属する四半期純損失金額8億31百万円）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の生産量は、ブナピーを含めブナシメジ21,993 t（同3.7%増）、エリンギ9,146 t（同0.3%減）、マイタケ6,721 t（同1.2%増）となりました。

当第2四半期連結累計期間の各セグメントの概況は次のとおりであります。

#### 「国内きのこ事業」

生産部門におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮しつつ、衛生管理をより徹底し、品質の向上と安定栽培に努め、安全・安心なきのこを提供してまいりました。

研究部門におきましては、品質管理体制の強化、付加価値の高い新製品の開発およびきのこの薬理効果や機能性の追求に取り組んでまいりました。

営業部門におきましては、夏場のきのこ需要を喚起すべく、健康・美容・スポーツを3本柱とした「きのこで菌活」を提唱し、鮮度に拘った営業活動を行ってまいりました。販売面では、第2四半期連結累計期間の前半は新型コロナウイルス感染症の影響で内食志向が継続したことに加えて、野菜相場も堅調に推移したため、きのこの価格も前期を上回る状況で推移しました。後半は残暑が厳しい日が続く中で野菜相場も落ち着くとともに、景気の先行き不安に伴い消費者の節約志向も相まって、きのこ類の価格が低調に推移しました。

以上の結果、国内きのこ事業全体の売上高は224億49百万円（同8.5%増）となりました。

#### [海外きのこ事業]

米国の現地法人「HOKTO KINOKO COMPANY」におきましては、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により多くのレストランが休業を余儀なくされたため、フードサービスが中心である非アジア系市場の売上は低調に推移いたしました。一部小売店に持ち直しの動きが見られました。台湾の現地法人「台湾北斗生技股份有限公司」におきましては、新型コロナウイルス感染症の国内経済への影響は軽微でしたが、50年振りの異常気象で雨量が前年比の半分程度しかなく、また梅雨と台風の被害対策としての備蓄用として、パイヤーからの大量発注が無かったことで、例年のような季節要因の需要の上下が無く、販売には苦戦しましたが、売上は計画を上回りました。マレーシアの現地法人「HOKTO MALAYSIA SDN. BHD.」におきましては、当社の販売先であるASEAN全ての国において新型コロナウイルス感染症の拡大が販売に大きく影響し、厳しい状況でありました。本社海外事業本部において、今後のさらなる販路拡大を目指し、アジア各国および欧州でのマーケティング活動を引き続き行ってまいりました。

以上の結果、海外きのこ事業全体の売上高は21億72百万円（同9.8%減）となりました。

## 〔加工品事業〕

加工品事業におきましては、コンビニエンスストア向けなど業務用商品は、新型コロナウイルス感染症の影響により苦戦をしいられました。自社きのを活用した一般消費者向け商品については、新商品の開発やリニューアルにより販路拡大に努めてまいりました。通販事業では、健康食品・レトルト食品・乾燥きのを中心に販売は比較的堅調に推移致しました。また、子会社の株式会社アーデンにおきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により内食志向になり、OEM製品が好調に推移し、売上が増加いたしました。

以上の結果、加工品事業の売上高は40億81百万円（同5.7%増）となりました。

## 〔化成品事業〕

中核である包装資材部門におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中、衛生用品を始めとする各種商品の安定供給ならびにお客さまの原価低減に資する提案営業に尽力して参りました。また、農業資材部門におきましては、海外ネットワークを活用した原料等の安定供給と栽培ノウハウを活かした省力化投資への対応を強化して参りました。新規戦略部門におきましては、昨年10月の台風により被災した豊野工場の全稼働を7月に果たし、製造ラインの安定稼働と自社製品の販売強化に努めて参りました。

以上の結果、化成品事業の売上高は49億7百万円（同5.2%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は281億3百万円となり、前連結会計年度末より28億91百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金17億72百万円、商品及び製品6億4百万円及び仕掛品5億13百万円の増加によるものであります。固定資産は749億29百万円となり、前連結会計年度末より4億60百万円減少いたしました。

この結果、総資産は1,030億32百万円となり、前連結会計年度末より24億30百万円増加いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は288億14百万円となり、前連結会計年度末より62億28百万円増加いたしました。これは主に、短期借入金55億円の増加によるものであります。固定負債は240億25百万円となり、前連結会計年度末より34億45百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金36億76百万円の減少によるものであります。

この結果、負債合計は528億39百万円となり、前連結会計年度末より27億82百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は501億92百万円となり、前連結会計年度末より3億52百万円減少いたしました。

この結果、自己資本比率は48.7%（前連結会計年度末は50.2%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による影響を合理的に算定すること及びこの需要・価格を想定することは困難ではありますが、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき算定した業績予想を公表いたします。

詳細につきましては、本日公表いたしました「第2四半期業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,178	13,951
受取手形及び売掛金	5,798	6,275
商品及び製品	1,823	2,428
仕掛品	3,643	4,156
原材料及び貯蔵品	688	703
その他	1,122	654
貸倒引当金	△43	△66
流動資産合計	25,212	28,103
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	63,960	63,866
減価償却累計額	△28,633	△28,938
建物及び構築物(純額)	35,327	34,927
機械装置及び運搬具	57,268	58,707
減価償却累計額	△40,373	△42,766
機械装置及び運搬具(純額)	16,894	15,940
土地	13,854	14,326
その他	3,037	2,804
減価償却累計額	△1,841	△1,890
その他(純額)	1,195	914
有形固定資産合計	67,271	66,110
無形固定資産		
のれん	188	152
その他	115	117
無形固定資産合計	304	269
投資その他の資産		
投資有価証券	5,794	6,415
退職給付に係る資産	570	592
その他	1,468	1,561
貸倒引当金	△20	△20
投資その他の資産合計	7,814	8,549
固定資産合計	75,389	74,929
資産合計	100,602	103,032

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,873	6,560
短期借入金	4,437	9,938
未払法人税等	1,240	411
賞与引当金	1,094	1,244
その他	9,939	10,658
流動負債合計	22,585	28,814
固定負債		
長期借入金	16,680	13,003
新株予約権付社債	9,982	9,917
退職給付に係る負債	356	367
資産除去債務	194	198
その他	257	540
固定負債合計	27,471	24,025
負債合計	50,056	52,839
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,500	5,500
資本剰余金	5,697	5,705
利益剰余金	43,130	42,074
自己株式	△3,925	△3,779
株主資本合計	50,402	49,500
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,143	1,563
為替換算調整勘定	△498	△408
退職給付に係る調整累計額	△502	△462
その他の包括利益累計額合計	142	692
純資産合計	50,545	50,192
負債純資産合計	100,602	103,032

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	32,143	33,610
売上原価	25,293	25,186
売上総利益	6,850	8,423
販売費及び一般管理費	7,810	7,425
営業利益又は営業損失(△)	△960	997
営業外収益		
受取配当金	86	70
受取地代家賃	58	57
助成金収入	33	31
その他	32	36
営業外収益合計	210	194
営業外費用		
支払利息	46	41
為替差損	267	160
その他	7	10
営業外費用合計	321	212
経常利益又は経常損失(△)	△1,071	980
特別利益		
固定資産売却益	11	39
受取保険金	0	111
その他	0	—
特別利益合計	12	151
特別損失		
災害による損失	0	162
その他	0	24
特別損失合計	1	187
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,060	944
法人税、住民税及び事業税	148	344
法人税等調整額	△377	71
法人税等合計	△228	416
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△831	528
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△831	528



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△831	528
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△89	419
為替換算調整勘定	△33	89
退職給付に係る調整額	31	40
その他の包括利益合計	△91	549
四半期包括利益	△923	1,077
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△923	1,077
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の広がり方や収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。